

国際看護学

責任者・コーディネーター	共通基盤看護学講座 小松 恵 特任准教授		
担当講座・学科(分野)	共通基盤看護学講座		
対象学年	2	区分・時間数	講義 12時間
期 間	前期		
単 位 数	1単位		

・学習方針（講義概要等）

諸外国の社会、経済、教育および文化的な相違の理解を基に、世界の健康問題と看護の現状・課題について学ぶ。また、途上国の人々の主な健康課題と貧困を基盤とする健康に影響を与える要因について学ぶ。併せて、先進国の医療・看護の現状と課題についても学び、看護の国際情勢についての理解を深める。

・教育成果（アウトカム）

世界の国・地域・民族の歴史、文化、政治、経済、社会システムなどの背景を基に、国内外の人々の健康と看護の質の向上を目指す意義とその必要性を認識できる。また、看護における国際協力および外国人に対する保健医療・看護活動を理解できる。

【学位授与方針と当該授業科目との関連】

ディプロマ・ポリシー：1, 2, 4, 9

・到達目標（SBO）

1. 国際看護の定義と意義を説明できる
2. 海外における看護職者に必要な視点を理解できる
3. グローバルな視点で開発途上国の健康問題とその背景を考えることができる
4. 異文化理解と看護の国際化について理解を深める
5. 内なる国際化の状況とその課題を理解できる

・ 授業日程

(矢) 西 1-B 講義室

【講義】

月日	曜日	時限	講座(学科)	担当教員	授業内容/到達目標
4/12	月	2	共通基盤看護学講座	小松 恵 特任准教授	<p>国際看護学の概念</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 国際看護の定義と意義を説明できる ・ 国家・地域間の健康格差の問題を理解することができる ・ 世界とわが国の現状を健康指標から理解できる ・ 日本という国を説明できる <p>【事前学修】 日本に来たことのない外国人に日本という国を紹介できるように諸外国との相違点を調べる (30分) 国際保健に関するニュースや新聞記事を調べておく (30分)。</p> <p>【事後学修】 国際看護学を学ぶ意義を振り返り、看護師に求められる役割を考えてみる(30分)。 諸外国の少子高齢化対策を調べて、日本の対策と比較してみる(30分)</p>
4/19	月	1	共通基盤看護学講座	小松 恵 特任准教授	<p>開発途上国における諸問題</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 国連および国際機関の概要を知る ・ ミレニアム開発目標の評価と持続可能な開発目標について述べることができる ・ グローバリゼーションの功罪について理解できる ・ ICN等の職能団体の活動目標と内容を理解できる ・ 政府開発援助 (ODA) や NPO の活動について述べるができる ・ 内なる国際化の現状がわかる <p>【事前学修】 海外の健康・政治問題に関するニュースや新聞記事を調べておく (30分)。</p> <p>【事後学修】 ICTの発展のメリット・デメリットについて調べまとめる(30分)</p>

4/20	火	1	共通基盤看護学講座	小松 恵 特任准教授	<p>異文化理解と看護の国際化①</p> <ul style="list-style-type: none"> ・日本人であると言える ・文化とは何かがわかる ・国際協力・緊急人道援助に求められる人材について説明できる ・国内における外国人患者への看護の基本姿勢とケアについて述べる事ができる <p>【事前学修】 日本人と定義する要素は何か、日本人の特徴は何か調べる（60分）</p> <p>【事後学修】 文化とは何か復習し、自国の文化と自分の紹介が出来るようにまとめる（60分）</p>
5/7	金	1	共通基盤看護学講座	小松 恵 特任准教授	<p>異文化理解と看護の国際化②</p> <ul style="list-style-type: none"> ・宗教の対する配慮がわかる ・海外で活動する際の注意点がわかる <p>【事前学修】 在留外国人の国別割合とその国々の文化について調べる(60分)</p> <p>【事後学修】 特に宗教が生活に及ぼす影響を整理し、各宗教の看護上配慮すべき点をまとめる（60分）</p>
5/21	金	1	共通基盤看護学講座	小松 恵 特任准教授	<p>異文化理解と看護の国際化③</p> <ul style="list-style-type: none"> ・多様性と個別性の理解するためにもマイノリティーの存在を知ることができる ・無意識の差別について知ることができる <p>【事前学修】 多様性と個別性が説明できるように具体例をまとめる（60分）</p> <p>【事後学修】 差別とは何かを考え、なぜよくないのかまとめる（60分）</p>

5/31	月	2	共通基盤看護学講座	小松 恵 特任准教授	<p>海外の医療機関における看護活動の実践①</p> <ul style="list-style-type: none"> ・人権侵害の現状を知り、それがもたらす健康への影響を考えられる ・異文化への実践的な保健指導の方法を理解できる <p>WHO制作のビデオを視聴し、レポートを書く</p> <p>【事前学修】 世界で起きている人権侵害について調べる（60分）</p> <p>【事後学修】 人が生きる権利とは何かを具体的に記述し、それが侵害されている例をあげ、解決策を考える（60分）</p>
6/7	月	1	共通基盤看護学講座	小松 恵 特任准教授	<p>海外の医療機関における看護活動の実践②</p> <ul style="list-style-type: none"> ・アメリカの看護制度を理解できる ・NCLEX-RN申請方法や移民看護師の状況を理解できる ・日米の医療保険制度の違いについて理解できる <p>【事前学修】 諸外国の医療保険制度を調べる（60分）</p> <p>【事後学修】 日本の皆保険制度とアメリカの保健制度の比較をし、各々の利点・欠点を考える（60分）</p>
6/16	水	1	共通基盤看護学講座	小松 恵 特任准教授	<p>海外の医療機関における看護活動の実践③</p> <ul style="list-style-type: none"> ・海外での保健活動実践の紹介 ケニアでのメディカルキャンプ等 <p>【事前学修】 現在起きている難民問題について調べる（60分）</p> <p>【事後学修】 授業全体についてまとめ、自分ができる国際看護を考える（60分）</p>

・教科書・参考書等

教：教科書 参：参考書 推：推薦図書

	書籍名	著者名	発行所	発行年
教	系統看護学講座専門分野Ⅰ基礎看護学〔1〕看護学概論第16版	茂野香おる他	医学書院	2016

・成績評価方法

定期試験 80%、レポート 20%の合計 100%にて評価する。

・特記事項・その他

【事前事後学修の具体的内容及び時間】

- ・シラバスに記載されている次回の授業内容及び到達目標を確認し、教科書・レジメ等を用いて事前学修（予習または復習）を行うこと。
- ・上記の事前学修は全ての授業に該当するものであり、各授業に対する事前学修時間は最低 60 分を要する。

【授業における試験やレポート等の課題に対するフィードバック】

- ・提出されたレポートは採点后、コメントを付して返却する

【保健師助産師看護師学校養成所指定規則教育内容】

看護師（別表 3）：統合分野 看護の統合と実践

・授業に使用する機器・器具と使用目的

使用区分	機器・器具の名称	台数	使用目的
講義	プロジェクター	1	講義用スライド投影
講義	書画カメラ	1	講義用資料投影